花小 CS ビジョン:「もっと地域を好きになる!」 保護者と地域と学校で、子どもを育てる R4 学校運営協議会日程 東京都型学校運営協議会 7月14日(木) 笠2回 会 長 中條 第3回 10月22日(十) 第4回 11月26日(土) 小平市立花小金井小学校

副会長挨拶(齋藤)

11月、秋が深まりゆく冬へと向かう時期。だんだん夕方が早く訪れ、冬の暗さを感じさせます。 でも、木々の葉っぱが明るく色付いて、秋がまだまだと抵抗を見せます。そんな移ろい行く季節を感 じながら音楽会が開かれる素敵な小学校があります。

浩 美

良友

今回は、この素敵な小学校で、「もっと地域を好きになる!」にはどんなことが、「保護者と地域と 学校で子どもを育てる | には何をすれば、ということで、実践するべくプロジェクトを決める第4回 の協議会が26日の土曜日に開かれました。

委員の皆さん方は、前回に引き続いて熱い思いを語られ、ご意見を頂くたびに「なるほど」、「そう いう視点もあったのか!「それは思いつかなかった」と新鮮な気持ちになり、視野が広がると同時に ワクワクしてきます。そういう活き活きした会議は、やはり秋らしく、実りがありました。当然、プ ロジェクトは一つの訳がありません。

今後は、プロジェクト一つずつに喧々諤々という肥料を与えながら、大切に、大胆に、そして丁寧 に育てて行く予定です。どんな実を結ぶのか、ご期待ください。

オブザーバーより(校長:高橋)

子どもは、子ども同士の関わりを通じて、家庭の中では得られない体験をしながら成長します。保 護者は、保護者同士の関わりを通じて、相対的に子育てを見ながら家庭の教育力を高めます。地域 は、地域の教育資源を生かしながら、人の輪づくりや子育て支援等を進めていくことで、地域ぐるみ の子育てを充実させます。学校は、よりよい社会、地域を創る教育目標を保護者、地域と共有し、協 働しながら具現化に取り組むことで、よりよい地域づくりに貢献します。

花小学校運営協議会では、これらの営みを効果的に関連付けるための枠組みとなる、花小CSプ ロジェクトを検討する中で、子どもたちの豊かな成長のために何が必要かを丁寧に考えていきたい と思います。

第4回学校運営協議会の様子

(1) 会長あいさつ (中條)

前回はビジョンについてたくさんの意見をいただき、決定した。今回はプロジェクトについて検討す る。今回も前回のように、皆さんからたくさん意見をいただきたい。よろしくお願いします。

- (2) オブザーバーより (校長:高橋)
 - ・初めての取り組みとなる音楽会が開催された。保護者ボランティアの力強い手助けにより、無事に終

えることができた。

・これからの社会は多様で、課題も複雑化していく。CSを導入することで、皆様のさまざまな知見とアイディアを掛け合わせることができ、問題の解決に繋げていける。

(3) 学校情報(教務主幹:白瀚)

- ・行事が終わった後に反省や改善点を検討し、次年度へ繋げている。現在、次年度の行事予定を作成している。CSがスタートしたら、委員の方々に行事の作成にも参画していただく。
- ・次は、12月10日が学校公開日。またよろしければご覧いただければと思います。

(4) 学校情報(生活指導主幹:二階堂)

- ・コロナの感染状況だが、爆発的に増えているという感じではないが、何人かずつ。
- ・12月10日の学校公開だが、午前中は地域防災体験。それぞれの学年の発達段階に合わせて、児童が 防災について考える事業を行う。午後は避難所開設委員会が避難所開設訓練を行う。避難時の運営に ついて検証する。

(5) クラス写真の映像視聴(椎名)

保護者の有志でカメラマンを募り、各クラスの先生とスケジュールを合わせて写真を撮ることをした。先生に協力してもらい、全クラス黒板を工夫してみた。

→職員室のテレビでも流しています。 毎日エネルギーをもらっています。



(6) 協議

- ・前回に決めたビジョン「もっと地域を好きになる~保護者と地域と学校で子供を育てる~」に沿った プロジェクトに。
- ・部会を決めて、その中でプロジェクトを進めていく。
- ・提案として、健全育成、安全対策、学校支援の部会はどうか。
- ・ビジョンが「もっと地域を好きになる」だから、地域という言葉が入った方がいい。
- ・それぞれの部会の副題として、保護者ができること、地域ができること、教員ができることを作ると、 連携がはっきりする。
- ・地域連携という形の部会があってもいい。
- ・子どもたちのことを考えていくのが中心になるので、子供の健全育成、子供の安全対策、子供が通う 学校の支援としたい。
- ・アンケートを見ると、イベントや祭り、居場所づくりがある。
- ・安全対策は、地域性もあるような。登下校だと、花小の子は横に広がって歩く傾向がある。そういう 細かいことを教えるのも安全対策の一つの指針。
- ・学校支援は、いじめ案件など、学校でも対応が難しい案件が出てくるので、お手伝いかアドバイスが できるのでは。そういう課題を解決していくためにイベントや講座を使うのも考えられる。
- ・登校が難しい子への居場所づくりだが、悩みを抱えているお母さんが誰にも相談できず孤独だとい う話も聞く。そういうお母さんが話をできる場所もあればいい。

- ・自分の子どもではなくても、保護者が注意しあえる関係ができる取組があればいい。
- ・「ありがとうございます」が言い合える環境になるといい。
- ・児童館と連携してできることもあるのでは。
- ・地域の魅力だったり、好きになれるんだって事を、もっと宣伝していく部会や、自分たちもそれを味 わえる取組をしたい。
- ・保護者にボランティアをお願いするのも限界がある。地域にいるシルバーさんや保護者ではないが 学校のボランティアをしていただける方が入っていただけるといい。
- ・ボランティアだが、保護者や地域が仕事したなって気分になるものに。
- ・地域に開かれた学校作り、地域に支えられた学校作りをしていくっていうことが目的になっている ことを、関わっていないから全然知らない方がいる。卒業された方とか。まずはそういう方々にこの 話を知っていただくっていう活動を。
- ・学校のことを、まずは知ってもらう取組を。

(7) 50周年について

・次回に。

(8) 副会長挨拶(斎藤)

以前、父兄参観があった。今の学校公開にあたるもの。その頃に農業の指導をしてほしいというお願いがあり、学校の畑で行った。お手伝いに来てくれたお父さんやお母さんも多かった。1回くらい学校に関わったりしないと、やっぱり皆さんも動きづらいのかなと。児童館の話が出たが、児童館も実際に子供が行かないと。今は、行く機会もないのでは。このプロジェクトでそういうところを解決できればと。本日はありがとうございました。

今後の予定

第5回 2月 4日 (土)	・プロジェクト等の確認 ・花小 50 周年記念行事について
第4回 11月26日 (土)	・アンケートについて(結果を受けて) ・プロジェクトについて(内容、担当の決定)
第3回 10月22日 (土)	・CS についてのアンケートについて(検討) ・CS のプロジェクトについて(内容の検討) ・前期学校評価について(結果を受けて)
第2回 7月14日 (木)	・CS のビジョンについて(検討)
第1回 5月12日 (木)	・顔合わせ・今後の計画等、確認

・後期学校評価について(結果を受けて)

第6回 3月 2日 (木)・次年度の体制、日程等の確認

CS(コミュニティ・スクール)とは?

CS(コミュニティ・スクール)とは、学校経営協議会を設置した学校のことです。学校経営協議会とは、子どもの周りにいる地域の大人が互いに協力し合って、自分のまちの子ども達を守り、育てようとするための仕組みです。

CS の目的は、保護者や地域住民の学校経営への参画と連携をすすめ、地域に開かれた学校づくり、地域に支えられた学校づくりをしていくことです。

※今年度は令和5年度の CS の指定に向けた検討期間ですので、 東京都型学校運営協議を設置し、検討を行っています。令和 5 年度に CS がスタートしましたら、「学校経営協議会」として設置 し、運営を行います。

令和4年度 東京都型学校運営協議会委員の皆様 ※敬称略

(花小サボーターズ代表) 会 長 中條 浩美 副会長 (小平市職員・樹医) 齋藤 貴彦 天野 岳洋 (花小金井南公民館館長) 植松美代子 (花小金井南三丁目自治会長) 鍵山 智子 (地域教育コーディネーター) 鏑木美知子 (民生委員児童委員) 瓦井千恵子 (民生委員児童委員) 椎名 理沙 (保護者の会委員長) 京子 (地域教育コーディネーター) 東海 (花小地区青少対会長) 祐子 (花小金井小学校園芸ボランティア) 深川 直人 堀井 賢治 (花小金井南中学校校長) (花小地区青少対副会長・小平市青少年委員) 松浦 竹美 森井 良子 (元小平市教育委員会教育長職務代理者) 宏史 (花小金井小学校副校長) 大澤

アンケートの結果







